

# 西条市とベトナム（フエ市）との関係について

## 1. フエ市概要

- 位置： ハノイの南南東 530km に位置するベトナム中部地域の都市  
トゥアティエン＝フエ省の省都  
周辺は 2,000 級の山々、平野、海岸などの地形からなり、西条市と地形的に類似
- 面積： 83.3 km<sup>2</sup>
- 人口： 約 35 万 4 千人（2015 年）
- 歴史： 10 世紀にはチャンパ王国の中心都市  
16～18 世紀には広南国の都阮（グエン）朝時代の都（1802 年～1945 年）
- 言語： ベトナム語
- 産業： 農業（ザボンの産地）、伝統工芸、観光
- 教育： 市内には師範大学や農林大学など 6 つの大学を含む 67 の教育施設があり、「ベトナムの教育センター」と呼ばれる文化教育都市
- 災害： 1999 年 11 月、フエ市を中心とするベトナム中部の地域は、かつてない豪雨にみまわれ、大洪水による被害を受けた。4 日間にかけておよそ 2,600 ミリの豪雨が降り、市全体が濁流にのまれた。降り始めから 5 時間ほどで水位が 2～3 上昇し、約 400 名が亡くなる。フエ農林大学では、この洪水災害を契機として、京都大学と共同で防災研究の取り組みを始めた。9～11 月は毎年洪水が起こる。
- 友好都市：
  -  ニューヘイブン（アメリカ合衆国コネチカット州）
  -  ホノルル（アメリカ合衆国ハワイ州）
  -  ケベック（カナダ）
  -  静岡市
- ※  京都市がパートナーシティー盟約（H25.2）
- 観光資源： 1993 年フエの建造物群が世界遺産に指定される。  
フエ市はベトナム戦争中、テト攻勢の舞台となり建物の多くは壊滅的被害を受ける。戦後、王宮などが部分的に復元され、1993 年に王宮をはじめとする建造物群がベトナム初の世界遺産に指定される。街中を流れるフン（Huong）川を境として旧市街、新市街とに分かれる。

## 2. ベトナム（フエ市）と西条市との交流

- 経緯  
平成 11 年 11 月の大洪水被害を契機としてフエ市は京都大学大学院地球環境学堂と共同で防災研究に取り組み始める。こうした状況のもと、西条市は平成 16 年の台風被害からの防災関係事業で連携を強めた京都大学大学院地球環境学堂から紹介を受けフエ市との交流が始まる。

- H17.12 … フェ農林大学学長他来西
- H19.7 … フェ大ー京大国際交流セミナーで学生 10 人・教員 2 人が西条訪問
- H20.6 … 大保木地区の住民 6 名がフェ市訪問
- H21.11 … JICA ベトナム中部防災プロジェクト研修受け入れ
- H22.8 … 再びフェ大学生・教員が西条訪問
- H23～ … J I C A 「草の根技術協力事業」受託による防災教育プログラム支援開始
- H24.2 … 市長、大越副市長、市議会議長、ほか中堅若手職員の計 11 名によるベトナム視察
  - ・フェ市人民委員会と防災支援事業以外の交流関係構築について意見交換（訪問先）：在ベトナム大使館、フェ人民委員会、フェ農林大学  
ファン・サオ・ナム中学校、ホーチミン市、ダナン市等
- H24.8 … ベトナム国の教育訓練省副局長、ハーティン、ゲーアン、クアンビンの各省やダナン市の教育訓練局関係者ら 9 名の来西
  - 目的：JICA から受託し、NPO 法人 SEEDS Asia が実施している研修プロジェクト「防災意識の啓発」の一環。西条市の防災施策等の研修一般財団法人自治体国際化協会の「JET プログラム」を通じて、全国で初めてベトナム人国際交流員（フェ市出身）を招致。
- H25.4 … ベトナム国フェ市開催の「フェ伝統工芸フェスティバル」に出展。副市長ら 9 名が訪越
- H25.8 … 京都大学国際交流科目の招聘プログラムとして、フェ大学の学生・教員 12 名、京都大学のベトナム人留学生在が 3 日間来西し、大保木地区での研修、交流や市内施設見学等を実施
- H25.9 … 大保木地区住民ら 6 名がフェを訪問し、史跡・戦跡見学、フェ農林大学教員・学生、山村住民との交流等を実施
- H27.4 … 日本貿易振興機構（ジェトロ）の採択を受け、ビジネスサポートデスクをハノイに設置
- H27.4 … ベトナム国フェ市開催の「フェ伝統工芸フェスティバル」に出展。市長ら 11 名が訪越
- H29.4 … ベトナム国フェ市開催の「フェ伝統工芸フェスティバル」に出展。市長ら 10 名が訪越
- H29.8 … 新しいベトナム人国際交流員（ビンズン省出身）を招致。

○ J I C A 「草の根技術協力事業」受託による防災教育プログラムの開発・実践の支援

- 実施期間 … H23～H25 年度（3 年間）
- 実施地域 … ベトナム社会主義共和国 トゥア・ティエン・フェ省 フェ市
- 事業実施経緯 … 平成 11 年 11 月の大洪水被害を契機としてフェ市は京都大学大学院地球環境学堂と共同で防災研究に取り組む。ベトナム政府も「教育及び訓練」による災害対策を重視し始める。こうした状況のもと、京都大学大学院地球環境学堂からの紹介により、当市の「12 歳教育推進事業」での防災教育手法をフェ市の実情に合った防災プログラムの開発・実践に活かす事業提案を行い JICA に採択される。

● 1年目（H23年度）

- 5月中旬 大越副市長以下、危機管理、教育委員会等職員7名による訪問。  
目的：事業開始挨拶、全体計画の確認等
- 8月上旬 フェ市タイン副市長以下5名の来西  
目的：子ども防災キャンプ視察等12歳教育の理解、学校訪問
- 8月中旬 総務部、教委、企画情報部等の職員や教員、教育委員11名による訪問

● 2年目（H24年度）

- 5月中旬 フェ市訪問。教員同士の意見交換等で防災教育の理解向上（延期）
- 7月上旬 フェ人民委員会副委員長ほか教育関係者等 計7名来西  
目的：タウンウォッチング、防災授業の視察
- 8月下旬 フェ市訪問。タウンウォッチング、土のう作り実演指導等の実施  
消防団員、防災士、自主防災会メンバー、教員、市職員17名

● 3年目（H25年度）

- 8月上旬 日越友好40周年記念事業の一環として、「フェ市子ども防災サミット」を開催。本市から教員、消防団員、防災士等14名が出席
- 12月中旬 「西条市子ども防災サミット」でモデル校の生徒6名が防災学習の成果を発表。フェ市からモデル校生徒6名を含むチュオン・ディン・ドゥック公安局副局長以下11名を招聘